

## 令和2年度入学式 式辞

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご入学も誠におめでとうございます。このような状況で、ふた月遅れとなりましたが、皆さんと、この会場で一緒になれる時がやってきました。

また、本日、御臨席を賜りました、後援会長・多古町長 所一重様、同窓会長 那須保秋様、PTA会長 大木りか様、お忙しい中、誠にありがとうございます。

多古高校は創立113年を数える県内有数の歴史と伝統を誇る高校です。最盛期に比べると、学科の種類も生徒数もいささか寂しくなりましたが、地域社会で活躍する人材を輩出する高校として大きな役割を担っていることには変わりはありません。

さて、新入生の皆さんに歓迎の言葉をお送りします。

いろいろ申し上げたいことがあります、一点に絞ってお話します。

それは、どうか自分に自信をもって生きてもらいたい、ということです。

自信をもつ。これは難しいことでしょうか？皆さんは、高校でいろいろなことに取り組まなければなりません。勉強にも、部活動にも、その他の学校行事にも力を発揮しなければならない。

勉強にしても、1年生の場合、普通科も園芸科も、8つの教科、細かく言うと11の科目。これら全部に全力で取り組むことができればよいが、なかなかそうも行かない。

そこで、考え方を変えましょう。まず自分が得意なもの、取り組み安いものに全力を注いで、誰にも負けないもの、自分の得意技に仕上げましょう。これについてなら自分は誰にも負けないぞ、というものを作りましょう。何も勉強だけではありません、部活動でも、その他の、例えば趣味のようなものでもいい。これについては自分が一番、を作ってください。

そうすれば、俺は俺だ、私は私よ、と自分の存在に、どっしり、重さが加わった感じがするはずです。

どっしり、ずっしりという感じが加われば、少しの衝撃にもビクともしません。周りに仲間がいても、また、たとえ誰もいなくても気になりません。しっかり立つことができれば、今まで不得意だったことにもチャレンジする気持ちが起こって来るはずです。

私は国語の教員ですが、国語という教科で扱ういろいろな作品すべてを完璧に教えられるかというとなんかそう簡単にはいきません。不得意なものがたくさんある。でも、この分野については負けないぞ、というところがほんのちょっとあるので、不得意な部分についても何とか頑張ることができる。同じようなことは、ここにいる先生方、お父さんお母さん、そして来賓の皆さんにもきっとあるはずですよ。

これについては誰にも負けない、と言うものを作る。そうすれば、毎日、張り切って学校に通える。その勢いで、全員、卒業まで頑張りましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。昨年度末から変則的な状態が続き、私達も右往左往しながら年度始めを迎えました。保護者の皆様への御連絡も二転三転することが多く、御迷惑をお掛けしました。これからしばらくのあいだも、不透明な部分が多いと思いますが、本校としても、御家庭の協力をいただきながら、お子様の成長、そして安全を第一に考え、丁寧に、きめ細かく指導に当たっていきたく存じます。

じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さん、この多古高校で、一生涯の基礎をしっかり固めてください。皆さんの本校での大いなる活躍に期待し、式辞といたします。

令和2年6月1日

千葉県立多古高等学校長 平山公治